

# 学力向上に向けた取組

函館市立北星小学校

## 1 課題

「わかって楽しい授業」を目ざし、個々に応じた指導方法を組織的に構築する。  
児童一人一人の学習意欲や興味関心を高める指導方法を工夫する。

## 2 課題解決の具体策

学習の指導内容と指導体制の工夫（特別支援員や理科支援員等の有効活用）  
全校朝学習や全校朝読書の実施。 外部講師を活用した外国語活動の授業構築。

## 3 取組の概要

### (1) 函館市特別支援教育支援員を活用して

- ・支援員と各学年で「個別支援が必要な児童」について打合せ、算数を中心にTT学習の形態を計画し、児童一人一人に合った学習内容を進めている。



### (2) 理科支援員、学生ボランティアを活用した授業の工夫

- ・今年度から、5・6年生へ理科支援員を招き、今まで十分に行えなかった実験学習や観察学習を、担任とTT学習の形態で行うことにより、より興味深く児童の関心が高い授業を構築できた。特別支援学級でも、学生ボランティアに授業作りに参加してもらい、充実した学習内容になった。

### (3) 全校朝読書、全校朝学習の実施

- ・朝の10分間を活用し、全学年で、算数・国語の基礎的な反復学習を習熟したり、週2回を使い「全校朝読書」にも取り組み、読書好きの児童が増えてきている。



### (4) 外国語活動におけるサポーターの活用と授業作りの工夫



- ・函館市より派遣していただいた「外国語サポーター」を活用し、5、6年生の児童の興味関心に応じた「外国語活動の授業」をたくさん行うことができた。また、併せて「知恵の予算」を活用したスマートボードを使い立体的な授業作りも工夫できた。

## 4 成果と課題

「函館市特別支援員」「理科支援員2名」「学生ボランティア」「外国語サポーター」等の外部講師を活用し、TT学習や個別学習を行うことができ、児童一人一人の学力や興味関心に応じた学習指導の推進ができた。

特別支援教育に関して、個別指導の充実を目ざしコーディネータを中心に、学級経営交流会やケース会議を組織的に計画したが、時間的に不十分であった。